

| | | | |
|------|-----|-----|--------|
| 開講期間 | 配当年 | 単位数 | 科目必選区分 |
| 2ndQ | 1年 | 1単位 | 必修 |
| 担当教員 | | | |
| 章 潔 | | | |
| | | | |

| | |
|------|--|
| 講義概要 | <p>本授業は、古代より日本と大陸の架け橋であった、日本の西端に位置する長崎県を取り上げる。かつて西洋・中国・朝鮮に開かれた窓として、異国の文化を受け入れながら、多くの人と交流し、栄えてきた長崎県は、独自の歴史と文化を有している。その一方、全国的に地方の景気停滞、人口減少、少子・高齢化が進行している中、長崎県は特に著しい人口減少・流出や厳しい経済状況に見舞われている。しかし、長崎県において、特有の歴史・文化を生かした多種多様なまちづくりが推進されている。</p> <p>この授業では、本短期大学の所在地である長崎県の魅力に迫り、あわせてまちづくりの視点からさまざまな課題について考察することを目標としている。</p> |
| 授業計画 | <p>1 導入：長崎とまちづくり 学習課題 復習：インターネットで長崎県について調べておく。 予習：テキスト3頁～11頁</p> <p>① 長崎研究の概要 ② 長崎について ③ まちづくりについて ④ 長崎とまちづくり</p> <p>2 長崎開港 学習課題 復習：テキスト3頁～11頁 予習：テキスト21頁～26頁</p> <p>①長崎の範囲 ②ポルトガル人と平戸 ③大村純忠の受洗 ④長崎開港とキリスト教</p> <p>3 キリシタン対策と長崎くんち 学習課題 復習：テキスト21頁～26頁 予習：テキスト38頁～55頁</p> <p>①バテレン追放令 ②禁教令 ③「処刑」から「棄教」へ ④長崎くんちの誕生</p> <p>4 長崎くんちの諸相 学習課題 復習：テキスト38頁～55頁 予習：テキスト31頁～37頁</p> <p>① 年番町 ② 小屋入り ③ 庭見せ、人数揃い ④ 前日、中日、後日 ⑤ 奉納踊 ⑥ 庭先回り</p> <p>5 長崎の和・華・蘭文化（中国を中心に） 学習課題 復習：テキスト31頁～37頁 予習：テキスト109頁～121頁</p> <p>①長崎華僑 ②長崎新地中華街 ③ランタンフェスティバル</p> <p>6 長崎の地域ブランド 学習課題 復習：テキスト109頁～121頁 予習：テキスト167頁～182頁</p> <p>①地域ブランドとは ②長崎の龍踊り ③伝統堅持と観光利用</p> <p>7 協働と共生 学習課題 復習：テキスト109頁～121頁 予習：テキスト143頁～165頁</p> <p>① 協働とは ② 共生とは ③ ランタンフェスティバルにおける協働 ④ 中華街と他の商店街との共生</p> |
| 授業形態 | 講義 |
| 到達目標 | ① 長崎の歴史や文化、まちづくりに関心を示し、課題に取り組むことができる。 |

| | |
|----------|--|
| | ② 長崎の自然景観や史跡・文化財をまちづくりの材料として活用する方法を提案できる。 ③ 長崎の歴史や文化、まちづくりに関する用語や事象を理解できる。 ④ 経験者（2年生）と積極的に交流し、学外学修経験に備える。 ⑤ 再認識した長崎の文化の特性を見直し、異文化間交流の際に助力にできるようにする。 |
| 評価方法 | 授業中の学習態度・意欲、定期試験の結果によって総合的に評価する。 |
| 評価基準 | 授業態度・授業への参加30%、宿題・授業外レポート30%、定期試験40%。 |
| 教科書・参考書 | 教科書：『長崎の祭りとまちづくり』、章潔、長崎文献社。 |
| 履修条件 | 平成28年度以降の入学者 |
| 履修上の注意 | 本授業は「長崎を知る」ということを目標とし、多種多様な課題について、継続的に聞き、理解する努力を重ねることによって、多文化理解力を身につけるものである。 |
| オフィスアワー | 授業以外の時間（9時から17時までの間）ならいつでも気軽に訪ねてください。 |
| 備考・メッセージ | 学生には長崎とまちづくりに興味を持ち、積極的に授業に参加し、課題に取り組むことを期待する。 |